

新大広報

2013年 夏号
No. 188

【特集】～気になる授業を見つけ出せ!～

ようこそ! 新大 宝の山



【連載】

新大図鑑

学科のもっと知りたい そこんトコロ!

学生Interview!!

チャレポ!! (Challenge&Report)

ひとりdeli

新大広報 編集室便り



～気になる授業を見つけ出せ!～ ようこそ! 新大 宝の山

皆さんは授業をどのように選んでいますか? 今回は、意外と知らない授業システムや、Gコード科目の「教育分野の幅広さ」を伝えていきます。授業紹介ではGコード科目を「新潟大学個性化科目」「実習系科目」「講義系科目」3つのカテゴリーに分けて、新大広報編集スタッフの目線から気になる授業をピックアップしてみました。ぜひ今後の授業履修にお役立てください!

開放された5,000科目

新潟大学では約5,000科目もの授業が開設されており、一般に「Gコード科目(専ら教養科目)や「専門科目」と呼ばれています。みなさんは、「Gコード科目」は全学部の学生が受講できる教養科目で、「専門科目」は対象の学部以外の学生は受講できないと思いませんか?

全科目を履修できる!

新潟大学では、どの学部の学生であっても原則*全ての授業科目を履修することができます。例えば、人文学部で専門科目とするAという科目を、工学部の学生が履修すると教養科目として扱われます(履修した科目を専門科目とするか教養科目とするかは各学部によって定められています)。このように、同じ授業をある学生は教養科目として、ある学生は専門科目として受講しているのです。また、全ての授業が全学生に開放されているので自分の将来の目標に向けた授業選択ができます。

Aという授業

人文学部では専門教育に関わる科目

工学部では教養教育に関わる科目

同じ科目が人文学部では専門科目として扱われ、工学部では教養科目として扱われる。どちらの学生も受講できる!

※専門的な実習・実験、公的試験にかかわる科目を除く

濱口 哲先生 自然科学系教授(理学部) / 副学長(学務担当)

高校までの授業はどうしても受け身になりがちですが、大学では主体的に学んでいく姿勢が大切になってきます。学生は学びたいことについて自ら先生に働きかけ、コミュニケーションをどんどん積み重ねて欲しいです。また、124単位を取得することを最終目的とはせずに、それを越えて自分でどんな目的をもって勉強するかによって授業を選択してもらいたいと思います。

江口 正樹学務部教務課長

教務課の立場は全学部に通ずる部分ということになるので、Gコード科目に関する質問が寄せられます。「授業が開始される4月と10月は授業がなかなか取れないんですけど、どうすればいいですか?」という質問が多いです。どうすれば学生が希望する授業が取れるようにできるのか、頭を悩ませています。

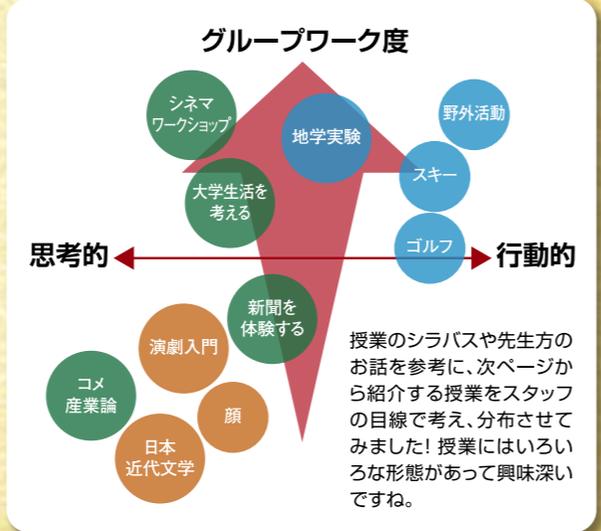
ちなみに

以前は「全学共通科目(教養科目)」と「専門科目」という科目区分があり、他学部で開設された「専門科目」を履修するにはその学部の許可が必要でした。しかし、それでは総合大学で学ぶ利点が十分に活かされないということで、平成17年度よりこの2つの科目区分を廃止し、全授業科目を全学部の学生に対して開設されたものとして位置づけました。一般に呼ばれている「Gコード科目」「専門科目」という区分に特別な意味合いはないのです。

便利な検索機能

授業を選択する時、シラバスを確認しますよね? 先ほど紹介したように新潟大学では約5,000科目もの授業が開設されており、その中から興味のある授業を選ぶことは至難の業です。そんな時に便利なのがシラバスの「全文検索機能」です。キーワードをシラバスの全文から検索することができます。この機能は学務情報システムや新潟大学のホームページから利用することができます。

《例えば》キーワード「地球温暖化」と入力→農学・理学・医学など様々な分野の科目が表示される。



新潟大学個性化科目とは

新潟大学ならではの科目のこと。新潟という地域に密着した授業、外国への留学準備講座、キャリア形成についての講義などさまざまなものがあります。その100を超える個性化科目の中から4つをピックアップしました!

コメ産業論

前期 | 水曜4限 | 担当教員 / 青柳斉、平泉光一、木南莉莉、伊藤亮司

世界的なコメの流通や日本の農家の経営などさまざまな視点からコメ産業の現状や重要性を経済学的に考える。国内コメ主産地である新潟でのコメの生産・流通・加工などを中心に紹介し、さらに輸入米主産地の中国も取り上げ、コメ産業の社会経済学的意義を学ぶ。

ココがすごい!

- 新潟のコメ作りの意外な歴史について学べる!
- 新潟のコメ産業を学ぶことで、新潟によりたくさん愛着が持てるようになる!
- 世界や日本のコメに関する経済を学べる!

キーワード / コメ産業、コシヒカリ、新潟米

シネマワークショップ

前期 | 火曜3・4限 | 担当教員 / 加藤かおり

映画を題材に「論理的思考にもとづく深い議論」の基本を学ぶ。映画を鑑賞後、映画から読み取れる事実を基にグループで課題に取り組む。講義の前半では、クラス全体での議論を深めるワークショップ運営の方法を学ぶ。後半は学生が主体となりグループワークショップの企画・運営をし、前半での学びを身に付ける。

ココがすごい!

- 物事を客観的に捉えることができ、視野が広がる!
- 映画を観るときの着眼点が鋭くなる!
- 論理的思考を身に付け、今後の学生生活でも継続的に使うことができる!

教員からのメッセージ

本講義は映画を観て感想を述べ合う、というものではありません。映画から情報を収集し、俯瞰的に分析するという論理的思考の基本と議論の場づくりの方法を体得します。受講した学生の中には、部活動や日常生活で活用している人もいますよ。

※俯瞰的(ふかんてき) 一部・一点ではなく物事の全体を客観的に捉えること

加藤 かおり先生
教育・学生支援機構准教授

キーワード / 映画、ファシリテーション、論理的思考

大学生活を考える

後期 | 水曜3限 | 担当教員 / 津田純子、加藤かおり、松井賢二、鷺見英司、西條秀俊、濱口哲

充実した主体的な大学生活を実現できるように、大学での学習の意義や特徴を論議し、さまざまな角度からオムニバス形式の活動的な学習をする。そして、将来を見据えて働く意味や社会で求められる力を考え、グループワークなどにより自己分析力や自己表現力を鍛える。

ココがすごい!

- グループワークなど、さまざまな人と交流することで自己表現力が鍛えられる! これから学習していく学部を越えた仲間作りができる!
- 大学教育の意義を理解することで、これからの大学生活を充実させるきっかけになる!
- さまざまな分野の先生から話を聞き、自分の視野を広げることができる!

キーワード / キャリア、コミュニケーション、ワークショップ

新聞を体験する —新潟日報との連携授業—

後期 | 木曜3限 | 担当教員 / 北村順生 他

新潟日報の記者の指導のもと、新聞について学び、新聞というメディアについての理解を深める。そして、記事原稿の執筆を模擬的に実践し添削してもらおう。また各部門の方を招いて新聞社がどのような職種で成り立っているかを学ぶ。

ココがすごい!

- プロの方に添削してもらおうことで文章力がupする!
- 新聞がいかに地域に貢献しているかを知ることができる!
- 新聞について知ることによって、新聞の読み方がわかる!

教員からのメッセージ

新聞社には記者以外にもたくさんの職種の人があります。その人々を招いて新聞社ではどんなことをやっているかを学ぶことができます。

キーワード / 新聞、メディア

新潟大学個性化科目

自然現象の原理や法則、公式は、実際に実験や観察を通して、体感・実感することで理解が深まります。そのような学習をしたい人に、とっておきの講義です。

地学実験A | 前期 | 木曜2限 | 担当教員 / 松岡篤、渡部直喜

実際に岩石や地層、化石などに触れ地球の成り立ちや歴史、自然現象について理解する。講義で野外実習・室内実験のための知識をつけ、野外実習でサンプリング(標本採取)をする。そして、採取したサンプルを用いて観察などの実験を行い、理解を深める。

ココがすごい!

- 学生実験の授業だが、対象学部がないので誰でも履修できる
※学生実験は対象の学部学科生に特化した内容になっており、その学部学科生しか受講できない講義が多い。
- どの講義も必ず野外実習をする(宿泊を伴う場合あり。)

教員からのメッセージ

この講義には、学部学科指定はありません。ですから、この講義を通して普段関わることのない他学部の学生と交流し、野外実習・室内実験を行うことで協力しあい、自発的に学び合うことができます。この地学実験をきっかけに学生に繋がりを広げて欲しいと思っています。また、この講義を受けている間だけでも地球について考えてくれたらと思います。



松岡 篤先生
自然科学系教授(理学部)



野外実習① 佐渡市小木
枕状溶岩について解説している



野外実習② 佐渡市平根崎
貝殻の化石を観察
※矢印の先に貝の化石があります



貝殻：五十嵐浜でサンプリングした貝。スケッチをして同定すること
同定する：種の名前を決めること

※地学実験は全部で4つ開講されています。
地学実験A：前期木2/松岡篤、渡部直喜
地学実験B：前期木4/新川公
地学実験C：後期火2/高澤栄一、栗原敏之
地学実験D：後期火4/新川公
A~Dそれぞれで、講義内容・野外実習の行き先と日程が異なります。自分の学びたい内容や実習予定をシラバスでよく確認して履修してください。



ポスター：佐渡での実習をまとめて発表する。
※掲示は総合教育研究棟A棟2階廊下

キーワード / 地学、実験 全学部、野外実習

バスケットボール、バドミントンなど、健康スポーツ科学実習Ⅱは前期5種目、後期6種目の講義が開講されています。その中で泊りがけの実習があるユニークな授業を紹介します。

※健康スポーツ科学実習Ⅱは全学年を対象としている自由選択講義で、同Ⅰは一年生の特定の学部学科を対象とした講義です。

健康スポーツ科学実習Ⅱ

ゴルフ | 前期 | 火曜3・4限

担当教員 / 八坂剛史、五十嵐久人、篠田邦彦、牛山幸彦、石垣健二、村山敏夫、田中誠二
クラブの握り方から打ち方、アプローチショット、パッティング、ラウンドマナーと、ゴルフに欠かせない一連のプレーを学ぶ。8月に1泊2日でのゴルフ場ラウンド授業があるので、学んだことを実際のゴルフ場で体験できる。

ココがすごい!

- 大学内でフルスイングでのショットができる
- 実際のゴルフコースでプレー
- 趣味として始めるのにぴったり

キーワード / ゴルフ、個人の生涯スポーツ

スキーⅠ、Ⅱ | 後期 | 火曜5限

担当教員 / 五十嵐久人、篠田邦彦、八坂剛史、牛山幸彦
大学での講義は数回しかなく、1月にある山形県蔵王温泉スキー場での実習と学習がメイン。冬期でも野外で運動できることの楽しみを感じながら、初心者から上級者まで技術に応じた指導を受けられる。※Ⅰ、Ⅱは学習の到達目標、成績評価などが異なる

ココがすごい!

- 3泊4日でたっぷりスキーができる
- スキー技術ワンランクアップ
- 一般講義だが集中的に行われる

キーワード / スキー、蔵王温泉スキー場、雪上スポーツ



野外活動 | 前期 | 木曜2限 | 担当教員 / 大橋正春

大学内の五十嵐の森キャンプ場で、野外活動に必要な基礎技術、集団生活におけるマナーやルールを楽しみながら学ぶ。9月にある新潟県津南町での2泊3日のトレッキング実習では、山歩きその他にもバーベキュー、星座観察、そば打ちなどを行う。

ココがすごい!

- トレッキングは活動盛りだくさん
- 協調性を養える
- 自然の中で授業が受けられる

教員からのメッセージ

授業ではプロジェクトアドベンチャーといって、みんなで協力しないとうまくいかないゲームなどを行います。班単位で野外料理をするなど次第に仲間意識が生まれ、トレッキング実習が終わると学生からは授業を受けて良かったと感想をもらいます。



大橋 正春先生
人文社会・教育科学系教授
(教育学部)

キーワード / 五十嵐の森キャンプ場、トレッキング、プロジェクトアドベンチャー



先生や講師の方のお話を聞いて自分の考え方を深めることができる授業です。講義されたことを実演してみたり、映像を見たりと教室の中で様々な世界が展開します!

日本近代文学B

前期 | 金曜2限 | 担当教員 / 堀竜一

芥川龍之介の小説の中から「羅生門」「鼻」などで有名な歴史小説のジャンル「王朝物」の作品について学ぶ。毎回一作品ずつとりあげ、他の作品と比較しながら読みを深めることで芥川文学の魅力を探求していく。



ココがすごい!

- 「読み」を深めた先に新たな発見がある!
- 文学の世界を楽しめる!
- ビデオ鑑賞もある!

教員からのメッセージ

作品を読み、自分が生きている現実を振り返ってみることが大切です。作品から「教訓」や「答え」を得ようとするのではなく、自分の人生と照らし合わせながら常に問いを持ち続けることが、文学を読む意味だと思います。



堀 竜一先生
人文社会・教育科学系
准教授(教育学部)

キーワード / 文学、芥川、読書

顔 | 後期 | 金曜4限 | 担当教員 / 森田修一、大島勇人、野村修一、齋藤陽

人はなぜ化粧をしたり他人の顔色を伺ったりするのか。「顔」が単なる目や鼻などの集まりではなく、人と人とのコミュニケーションにおいて大きな役割を果たしているからである。そんな「顔」を対象として行われている様々な研究や活動をオムニバス形式で学び、「顔」についての知識を深める。

キーワード / 顔、表情、コミュニケーション

演劇入門

後期 | 水曜1限 | 担当教員 / 齋藤陽一

日本の演劇を中心に、具体的な作品を取り上げながらその変遷を見る。音楽や衣装などさまざまな要素から成り立つ総合芸術としての「演劇」について講義し、それぞれの演劇ジャンルによって異なる表現方法や作者それぞれの「演劇」に対する考え方を見る。また、「演劇」とはどのようなものかを明らかにしていく。

ココがすごい!

- 実際の演劇の映像を鑑賞して考察することができる。
- テレビなどでよく見るタレントや俳優の舞台での表情を見ることができる。
- 様々なジャンルの演劇を見比べることができる。

教員からのメッセージ

講義を聞いて演劇に興味を持った、という学生の話も聞きます。普段はあまり触れないという人が多い演劇ですが、講義を通じて理解を深めてもらい、魅力的なこの世界に引き込んでいきたいと思っています。



齋藤 陽一先生
人文社会・教育科学系
教授(人文学部)

キーワード / 演劇、芸術、歌舞伎

ココがすごい!

- 顔に関する医学的、歯学的な観点だけでなく、幅広い知識が得られる!
- 知識が今後の生活でも役立つ!



履修の豆知識

知っておくと便利!

魅力的な集中講義

前期、後期という約半年間の日程よりも短い期間で集中して行う講義のことです。長期休業中に開講されるものも多いので、夏休みなどを有効にしたい方はぜひ履修してみてください! 通常の講義ではなかなか体験できないアクティブな授業や、外部講師を招いての授業、海外留学のプログラムなどがあります。

専門科目の単位をGコード科目の単位としてカウント可能!

新潟大学では、自分が在籍している学部とは別の学部が開講している科目も履修することができます。例えば、他学部の専門科目を履修した場合、自分の学部の教養科目としてカウントすることも可能です! 可能となる科目は学部によって異なりますので、所属する学部の学務係で確認してください。

スタッフが選んだ授業の紹介や履修についての知識、いかがだったでしょうか? 大学は幅広い分野について学ぶことができ、自分を成長させることができます。興味をもった授業は積極的に受講して、知識という宝をその手につかんでください!

新大図鑑は、大学の中にある気になる場所・モノと、それにまつわるエピソードや歴史を紹介するコーナーです。
今回は、日本初の国立大学附属研究所である新潟大学脳研究所へ取材に行ってきました。
旭町キャンパスにある研究所の概要と最先端の脳科学の研究成果を紹介します！

【新潟大学脳研究所】

概要

新潟大学脳研究所は、「脳及び脳疾患に関する学理*及びその応用の研究」を目的として、昭和42年に国内で最初の脳神経に関する国立大学附属研究所として設置された。研究活動と並んで診療活動と教育活動とが一体となって進められている。

*学理:学問上の理論や原理



脳研究所誕生の歴史

昭和13年に中田瑞穂先生が中心となって発足した「新潟神経学研究会」が研究所の発端である。当時脳神経に強い関心を持っていた医学者たちの情報交換の場として活用され、脳研究に関する共同研究の気運を盛り上げた。その後共同研究の実績が評価され、昭和32年「新潟大学医学部附属脳外科研究施設」の設置が認可される。昭和42年には大学附属研究所への昇格が認められ、その年に「新潟大学脳科学研究所」が誕生した。研究所が大きくなるにつれて、研究部門は拡大され、成果も格段に増加した。水俣病やスモン病の病因解明に関する研究や、脳死及び脳死判定に関する研究などは、研究所が医療及び社会に対して貢献した重要な業績である。

中田瑞穂先生

新潟大学脳研究所の前身である新潟大学医学部附属脳外科研究施設の初代施設長。島根県津和野にて出生。東京帝国大学医科大学卒業後、同大学の副手・助手を務める。昭和2年、新潟医科大学外科学教室教授に就任し、脳研究所設立へ尽力した。



こぼれ話

医学部は一般的に自然科学系だと言われます。しかし、実際には哲学や心理学といった「心」の分野、患者さんの対応といった点で、実は人文系とつながりがあるのです。

脳が人間の記憶や性格にどう関わっているかという研究はまさにこれからの学問だといえます。現在人文系の学問を専攻している学生も、将来意外なところで脳研究の道へと進む機会があるかもしれません。

脳研究所教授/
脳研究所長
高橋均先生



病気から学ぶ

医学分野において、脳は依然として未知の部分が多いと言われている。ここでは、ただ病源を研究するだけでなく、臨床に力を入れた研究、つまり実際に患者と接し治療を行いながら研究を進めることで、病気を通して脳を理解し治療法を確立していく。「疾患がわかるから脳がわかる」という発想が根付いており、病気の脳を理解することは、正常な脳を理解することと同様に重要だとされている。

教育

「優れた研究活動と治療は、常に『優れた人材の育成』にかかっている」という理念のもとで教育活動に取り組んでおり、新潟大学医学部学生及び医歯学総合研究科大学院生への教育や研究指導を行っている。研究所と校舎は一本の廊下で繋がっており、いつでも最前線の研究や医療に触れることができる。



-80度で凍結されている脳の標本。保存数は約3万。



日本最大規模の光顕(光学顕微鏡)標本。

年表

- 昭和13年 「新潟神経学研究会」発足
- 昭和32年 「新潟大学医学部附属脳外科研究施設」設置
- 昭和42年 「新潟大学脳研究所」誕生
- 平成8年 超高磁場磁気共鳴研究棟竣工

- 平成8年 日本で初めてヒト用MRI装置として横型3T磁気共鳴装置(MRI)を導入
- 平成11年 世界で初めて縦型垂直ボアのヒト用MRI装置として縦型3T磁気共鳴装置(MRI)を導入



ピアノの演奏、車の運転、二足歩行などに関した脳機能解析に威力を発揮する。

脳研究所の創設以来、歴史を共に見守ってきたヒマラヤ杉。



命を救う研究を

脳研究所では、脳に関する研究がたえず行われています。今回は、脳梗塞の治療に役立つ研究を今後の医療に活用しようと尽力する、下畑享良准教授にお話を伺いました。

研究の概要

下畑准教授らの研究グループは、脳梗塞の治療中に引き起こされることがある合併症(脳出血)の原因物質を突き止め、その影響を食い止めるための治療法を開発した。

脳梗塞とは、脳の血管に血の塊(血栓)が詰まってしまう病気である。この治療には「血栓溶解療法」という血栓を溶かす治療が有効であるが、脳梗塞を起こしてから4.5時間以上経つとこの治療は難しくなる。治療薬が血管をも溶かして脳出血を起こしてしまう可能性があるからだ。今回の研究では脳出血を起こす原因物質を発見するとともに、その抗体が脳出血を予防することを発見した。これにより、合併症の危険が抑えられ、より多くの患者さんが脳梗塞の治療を受けられる可能性が高まっている。

脳卒中の研究

下畑准教授らが今回研究した脳梗塞は、脳卒中という病気の一つだ。脳卒中とは、脳の血管が詰まって起こる脳梗塞と、血管が破れて起こる脳出血とクモ膜下出血の総称である。

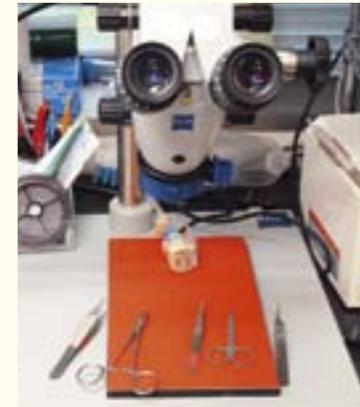
以前は脳卒中の研究が多く行われていたが、研究の成果を医療に反映することが難しく、最近では研究者も少なくなってきた。しかし、日本での患者数は約150万人と、実はがんの患者数よりも多いのが現状である。これからの日本の医療において、脳卒中はより一層取り組むべき病気であり、ここでの研究は極めて重要なものである。

実用化されるまで

「研究の結果を今後の治療に役立てたい」として、現在下畑准教授らは合併症を抑制する薬を作るために奮闘している。薬を作るまでには数々の研究や臨床試験が必要で、実際の医療現場で使用されるまでには長い時間がかかるという。下畑准教授らはアメリカのベンチャー企業と契約を結び、約5年後の薬の実用化を目指している。

治療に役立つ研究

「今後も脳の病気の治療に役立つ研究をしていきたい」と語る下畑准教授。今回取り上げた研究は脳の血管についての研究だったが、今後は同時に神経細胞も守る治療薬についての研究も進めていこうだ。これからも患者の治療に直結した研究を行うことで、脳の治療や医療を発展させる役割を担っていく。



ラットを使った研究で使われている用具。顕微鏡を覗きながらの細かい作業も多い。

研究チームの川村邦雄博士。



主にこの部屋で研究が進められていたという。いたるところに薬品やビーカーなどが並ぶ。

研究治療・解説

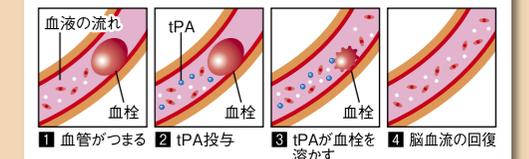
■脳梗塞を起こすと

脳梗塞の治療が早めに行われなければ、時間が経つにつれて脳の細胞が壊死する部分が広がってしまう。早めに病院で治療を受けることが大切だ。



■血栓溶解療法(tPA治療)

脳梗塞が起こった後一定時間(約4.5時間)以内であれば、詰まっている血の塊(血栓)を溶かして治療する血栓溶解療法が可能。



■脳出血の危険

4.5時間以上経ってから血栓溶解療法で治療を行うと、血管が破れて出血してしまう可能性がある。図内の矢印が出血している場所だ。



■脳出血の原因・解決

血栓溶解療法後に、脳血管で悪玉タンパク質が出現した様子



赤い部分が悪玉タンパク質が出現している箇所。脳血管(緑部分)に悪玉タンパク質が作用して、血管を破壊し脳出血を起こす。

赤: VEGF(血管内皮細胞増殖因子)
緑: 内皮細胞
青: 細胞の核

血栓溶解療法を行って脳出血を起こしてしまう原因は、治療後に現れる悪玉タンパク質が血管の外側の細胞外マトリックスを分解してしまうことにある。下畑准教授らはこのことを突き止め、抗体による治療を行った。

学科四 もっと知りたい そこへトコロ!

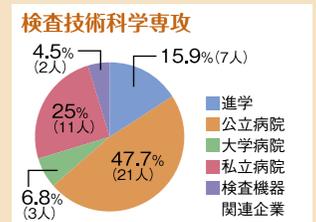
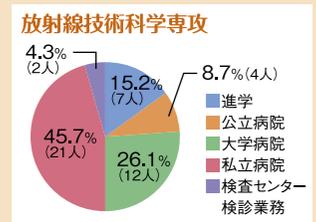
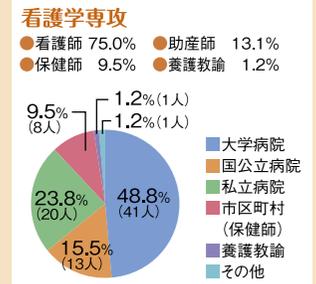
今回は、医学部保健学科と農学部生産環境科学科の学生に話を伺いました!
 どちらの学生もその分野をより専門的に学ぶことは楽しいと熱く語ってくれ、また学んだことを将来どう活かしていくか考えていました。そのお話を聞いて、これからの日本を支えてくれると実感しました!

データで知ろう 保健学科のそこへトコロ!

- 1.保健学科だからこそ習得できる免許・資格
- 看護学専攻
保健師、看護師、助産師
 - 放射線技術科学専攻
診療放射線技師、放射線取扱主任者第1種
 - 検査技術科学専攻
臨床検査技師
- ※青字の資格は国家試験を受けて、合格することが免許取得の条件です。

2.卒業後の進路内訳

(平成24年度卒業生進路状況)



学生コメント

就職か進学かなど進路を決めて、2月の国家試験に臨みます!!

ちなみに... 保健学科は専攻ごとに使っている階・棟、さらに学年ごとの講義室も席もほぼ決まっています。高校のときのようなのだそうです。

医学部 保健学科

保健学科はこんなところ!

保健学科は3つのコースに分かれていて、下記のようにコースで専門的に学びます。

看護学専攻：看護師は小児科や精神科など様々な診療科を担当するので、どの診療科でも対応できるよう高度な専門知識や技術を学んでいます。授業は実習が多いです。

放射線技術科学専攻：医療系の分野ですが、放射線機器を扱うので物理(電気光学、放射物理など)も学んでいます。実験は実際の機械を使用し、実践的に使い方を学んでいます。

検査技術科学専攻：健康診断などで放射線以外の検査(血液検査、尿検査)やその検査診断を主にやっているのが臨床検査技師です。そのため顕微鏡を使った実験が多いです。

保健学科だからこそのお話

- 普通、講義は前期・後期の2期ですが、看護専攻は前期a・前期bとさらに分かれていて4期になっています。そのため1つの講義が6コマと短く、必修の専門科目が多いです。(看・橋本さん) ※前期・後期の2期の場合1つの講義は15コマ
- シャーカステン(レントゲンを見るための機械)が講義を行う部屋に1台ずつあります。これを使って、レントゲンを見ながら講義を受けています。(放・南澤さん)
- ほぼ毎日実験があり、しかも曜日ごとに違う内容の実験を行うので、毎日違うレポートを友達と協力して取り組みました。(検・林さん)

卒業後の進路について

助産師の資格も取り、「助産師として命の産まれる瞬間に立ち会いたい。」と橋本さん。「診療放射線技師として、検査だけでなく医師と連携し治療にあたりたい。」病院で主に放射線の検査をしたいと南澤さん。病理*として医療現場に携わっていきたいと林さん。保健学科を卒業後は、就職するか、研究者として働かにかかわれるのだとか。橋本さん、南澤さんは就職、林さんは検討中とのこと。

※病理：(=病理学)病気の種類や、その原因などの本態を究明すること

印象に残っている専門講義

以下、各専攻を看・放・検と略して標記します。

【国際看護学】(看・橋本さん)
 国境なき医師団などで活動した先生のお話を聞いて、発展途上国の医療の現状を知った。たとえ道具がなくとも看護師としてどんなことができるか考えさせられた。

【放射線機器工学実験I】(放・南澤さん)
 実際に放射線機器を使って、人形のレントゲンを撮る講義。「この骨を撮りたいから、腕をこう曲げて」と考えるので、医療分野をやっているなど実感できた。

【病原微生物実習】(検・林さん)
 大腸菌などの病原菌の観察をする講義。病原菌を培養したり、採取してきた水の中に病原菌がいるかどうかを顕微鏡で観察したりすることが実践的だった。



日本の医療を支えます!!



橋本 知佳さん (看護学専攻4年)
 南澤 奈月さん (放射線技術科学専攻3年)
 林 友里恵さん (検査技術科学専攻4年)

農学部 生産環境科学科



生産環境科学科はこんなところ!

農学部といっても、私たちの学科は農学部の他の学科とは違った自然環境という観点から農学を捉えて考えます。森林や生物、農地、農村といった幅広い分野を学んでいます。農業工学コースでは、農業を工学という視点から考え取り組んでいます。森林環境学コースでは、森との共存をテーマとし、森・動物・人間の関わりについて取り組んでいます。この学科の人数は約50人で、実習などを通して仲良くやっています。

印象に残っている講義「樹木学」

佐渡に宿泊実習(長くて1週間ほど)に行き、主に樹木・植物の種類を覚えることが目的の講義。森に入り、樹木の場合は50種類くらいスケッチをし、特徴を観察したとのこと。「何十種類の植物を標本し保管しながら、レポートをまとめることはすごく大変でした。ですが、そのおかげで森に入った時どのような種類の植物が生育しているか分かるようになった」と出口さん。「宿泊実習は、辛い観察実験だけではなく、みんなでバーベキューするなど楽しみもたくさんあるので、楽しい」と傳田さん。

学習して、驚いたこと・身についたこと

傳田さんは、森に入って実際にチェーンソーを使って木を倒す実習があったことに驚いたそう。他にも農業用の機械の運転など、いろいろな体験ができたとのこと。また、講義・実習では、学生同士でディスカッションや学んだこと・体験したことのプレゼンをよく行うそう。仲間同士真剣に討論し、協力してプレゼンを企画していくので、協調性や主体性、なによりプレゼン能力が身についたと出口さん。傳田さんも「身についた」と頷いていた。2人とも、身につけたプレゼン能力を就職に活かしたいと話してくれた。

卒業後の進路について

傳田さんは土木技術者として公務員に、出口さんは人間と自然をつなげるような仕事に就きたいとのこと。「学んだことを生かして、地図に残る仕事をしたい」と傳田さん。「インタープリターとして自然の素晴らしさを多くの人に伝えたい」と出口さん。2人とも将来を見据えて、学んでいることを活かそうとしていた。
 ※インタープリター:直訳では、翻訳者という意味。自然と人との仲介として、自然を伝えていく役目の人物。



出口 翔大さん (大学院自然科学研究科(博士前期課程)環境科学専攻1年) 森林環境学コース 平成24年3月卒業
 傳田 彩さん (農業工学コース4年)

データで知ろう 生産環境科学科のそこへトコロ!

- ### 1.専門授業
- 土木測量学実習
 - 農業工学実験
 - 野生植物生態学実習
 - 保全生態学

学生コメント

実習が多い学科です。佐渡に2泊3日などの宿泊学習もあります!

2.生産環境科学科だからこそ習得できる免許・資格

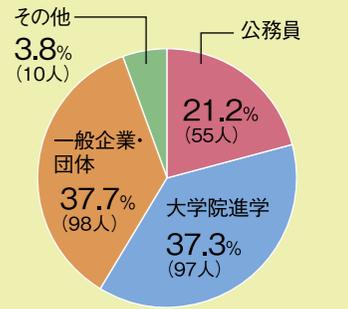
- 技術士補(農業、森林)
- 測量士補 など

学生コメント

技術士補の資格を持っているかが、就職の時に重要になります。

3.卒業後の進路内訳

(平成20年度~24年度卒業生進路状況)



ちなみに... 出口さんは大学院に進学する前に、1度就職をしたそう。学んでいた分野と違う職業に就いたがやはり学んできた自然について携わっていきたくて、もっと専門的に学ぼうと大学院に進学したとのこと。

自分の居場所

学生 Interview!!

大学生活を送る上でやりがいや目的を持って活動している、
輝く新大生を紹介するこのコーナー。
今回は「第1回都道府県対抗学生観光PRアワード」に出場し、
観光庁長官賞*1とインバウンド賞*2を獲得した渡辺直美さんにインタビューしました!
彼女の輝きの理由とは…?

世界と新潟をつなぐ架け橋になりたい

法学部法学科4年
渡辺 直美(ワタナベナオミ)
新潟県阿賀野市出身。大会終了後もSNS等を通じて、地域活性化に向けた活動を発信し続けている。

Naomi Watanabe

「第1回都道府県対抗学生観光PRアワード」とは?

「学生の子カラで日本を元気に!」を合言葉に、大学生が自分が通う大学のある地域の活性化をねらいとして観光PRをし、発表内容や表現力を競う大会。予選はインターネットを使って平成24年10月から平成25年2月まで行われ、47都道府県の66大学が参加。決勝戦は平成25年2月23日に行われた。

*1 観光庁長官賞…決勝戦で最も優れたプレゼンテーションをした参加者に贈られる賞

*2 インバウンド賞…アジア各国から参加するミスキャンパスが審査員となり、最も印象に残った参加者に贈られる賞

今回の「学生観光PRアワード」に出場したきっかけを教えてください。

新潟のことを知るといい機会になると考え、出場を決めました。生まれ育った新潟ですが、そこまで地元を好きになれない自分がいたんです。この大会をきっかけに自分の地元新潟に対する思いを変え、愛着を持てるようになりたいと思いました。

大会では方言でプレゼンテーションをされていましたが、どんな準備をしたのですか?

まず標準語で原稿を書き、それを方言に直す作業をして、同時に発表時に見せる資料をどう面白くするかを考えました。ただいいところを発表するのではなく、それぞれがどういったつながりを持っているのかを伝えようと工夫しました。構成はすべて自分で考えましたが、方言に直す作業は一人だけでは難しく周囲の方に手伝ってもらいながら時間をかけて進めました。新潟弁は図書館でCDを借りてひたすらテンポや抑揚を覚えて、原稿に反映させるとこんな感じだな、と準備をしてきました。

受賞した際の気持ちを教えてください。

最初は信じられなくて、「えっ、うそ」となって、気づいたら涙していました。本当に大会の準備にたくさんの時間を取って、大会の当日までは睡眠時間が少なかったり、たくさん労力をかけたりしたので、すべて報われたという思いが出たのかなと思います。

大会に出場する前と現在とで、自分自身に変化はありましたか?

今まで新潟の寡黙で真面目だと言われる県民性はマイナスにしか捉えることができませんでした。しかし、大会に出場するにあたって新潟の産業を調べてみて、その寡黙さや真面目さは、ものづくりに対する真摯な姿勢や粘り強さのベースになっていると気

づきました。新潟に住む一人ひとりがこういったプラスの面を見つけて周りに広めていくことが、何よりのPR活動になるのだと思います。

今後はどのような活動をしていく予定ですか。

新潟を盛り上げたい、魅力を伝えたいという思いがどんどん芽生えてきています。だから、周りからオファーがあればそれに応えたいと思っていますし、なかったとしても自分が持っているフェイスブックなどのソーシャルメディアを使って地道にPRしていこうと思っています。泉田裕彦県知事と、新潟の魅力についてラジオでお話しさせていただいたこともあります。難しいかもしれませんが、新潟を一方向的に発信するだけでなく、世界と新潟をつなぐ架け橋のような役割を担えるようになりたいです。

では、最後に新大生に向けてメッセージをお願いします。

自分のやりたいことが1つでもあってそれを自分でわかっているのであれば、先延ばしにしないですぐやりましょう。例えば、これから30日だけは好きなことをやっていたという期間を自分に与えて、義務とかを取り去って自分のやりたいことだけをする、という機会を作ってみてはどうでしょうか。30日というのがちょうどいい期間と聞きます。大学生であるうちに時間を有効活用して本当にやりたいことを頑張ってみることは大事だと思います。



1:大会終了後、賞状を持つ渡辺さん
2:受賞後、ラジオ番組で泉田裕彦県知事と新潟の魅力についてトークする様子
3:FMラジオ収録前に新潟県庁前にて

QUESTION

● 新大の好きな場所…「五十嵐キャンパス内 第一学生食堂裏の通り」
この道は好きでよく通るんです。人通りが少なく心を落ち着かせることができます。春には満開の桜が見ることもできて、とても幸せな気持ちになります。

インタビューを終えてスタッフの感想

とてもはつらつとしている渡辺さん。お話ししているだけでこちらまで元気が湧いてきました。大会に向けての準備の大変さや新潟に対する強い思いが伝わってくると同時に、周囲の方への感謝の気持ちを笑顔で話す様子にこちらまで嬉しい気持ちになりました。

このコーナーは、新大広報学生編集スタッフが新大の部活・サークル活動を体験し作成した、チャレンジ精神あふれるレポートである!!
今回はボート部へGO!! 海にも川にも縁のないザ・陸の男である新大広報学生編集スタッフが、信濃川に出る!!

ボート部

Report ◀

▶ Interview

今回は、4人で漕ぐ「フォア」というスタイルのボートに乗せていただきました!!
ボート部の艇庫にある1人〜9人乗りのボートの中で、比較的安定性が良いボートだそうです。

練習

これは「エルゴ」というトレーニングマシンです。漕いだ距離と時間のシミュレーションができ、スタッフは100メートル26秒でした!!ちなみに部員の方は18秒…(速!!)

ボート運び

肩に担いでボートを運びます。かっこいい!!

レクチャー

オールを持ち方や漕ぎ方を教えてもらい、さあ出発!!

オールは逆手でしっかりと握ります!

緊張するなあ…ドキドキ

カメラ部隊もモーターボートに乗って追いかけます!!

ボートに乗る位置によって役割があります

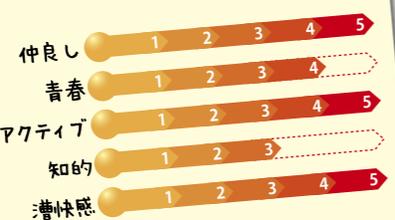
「パウ」声かけやアドバイスをし、クルー全体をリードします!

「エンジン」精一杯漕ぎます!! 筋力と持久力が必要です!

「ストローク」クルー全体の漕ぐタイミングをコントロールします!

スタッフ感想

見よう見まねで漕ぐことはできましたが、漕ぐタイミングやオールの動きが合わないとボートが揺れてしまい、全員で息を合わせることが大切だと実感しました。遠くの橋や建物がきれいに見え、広い信濃川でボートを漕ぐことはとても爽快でした!



スタッフ評価 1…まったく 2…少し 3…ふつう 4…かなり 5…はげしく



●部長3年 松本 翔太郎さん



●2年 鈴木 泰雅さん

Q.活動日時と場所、人数を教えてください。

松本 ●活動場所は、1年生は主に大学で基礎トレーニング、2、3年生は昭和大橋のたもとにある艇庫を拠点に練習しています。週6日と活動は少し多めですが、練習で疲れても勉強や日常生活が疎かにならないような生活を心がけています。部員数はマネージャーを含め約20人です。

Q.ボート部に入ったきっかけは?

鈴木 ●大学でしかできないことをやってみようと思って。初心者からでも始められるので自分を変えたい、もっと新しいことに挑戦したいと思っている人にはおすすめです。

松本 ●自分は高校からやっていて、大学でも続けようと思って入りました。経験者でもそうでない人でも、仲間と一緒に夢を追いかけていきたい人にボート部はぴったりだと思います。

Q.大会への参加は?

松本 ●毎年4月からシーズンが始まり、年4回をめぐりに大会に参加しています。

鈴木 ●8月に開催される全日本大学選手権を目標に少しずつ調子を上げていきます。今年の目標はとにかく勝つことです!

Q.ずばり、ボート部の魅力を教えてください!

鈴木 ●新潟のシンボルである信濃川で練習ができるということですね。新潟大学ボート部でしかできないことだと思います。

松本 ●オフの時間はアットホームな雰囲気ですが練習のときは真剣に、とメリハリをつけて活動していることですね。

クルーの一人一人がオールを漕ぎ、全員で2000m先のゴール地点へと艇を運ぶ、まさに究極の団体競技である、ボート競技。私たちは日々、日本一の長さを誇る信濃川で、インカレを目標にオールを握っています。

【HPアドレス】

<https://sites.google.com/site/xinxidaxuebotobuhp/>

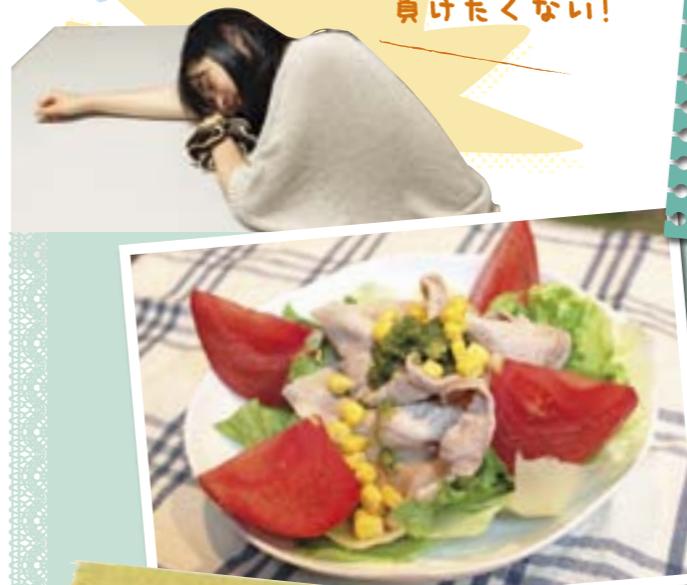


※delikatessen(独)=美味しいもの

ひとりdeliでは、多忙な毎日を送る新大生へお手軽レシピを紹介し、食に関する悩みを解決しちゃいます。今回は、夏の暑さに負けないために、ビタミンB群を多く含む豚肉と夏野菜を使った冷しゃぶレシピを紹介します! 一大ブームを巻き起こした塩麴にも注目!

料理初心者の石山さん

夏バテに負けたくない!



超簡単!!冷しゃぶサラダ

■作り方

- 鍋に水(600cc)を入れ、火にかける。(沸騰する直前に弱火にする)
- 豚肉に塩麴をまぶし、5分ほど置く。
Point!> 一晚漬けておくとより下味がついて美味しい!
- レタスを手で一口大にちぎる。トマトを食べやすい大きさに切る。
- 豚肉を1の鍋でゆでる。ゆでた豚肉はザルの上で冷ます。
Point!> 豚肉は生で食べられないので、赤みがながい注意する。
- 3の野菜の上に4の豚肉を盛り、お好みでスイートコーンを盛る。

ドレッシングをつくる

- きゅうりをおろし器でおろし、軽く水気をきる。おろしたきゅうりとポン酢(大さじ3)を混ぜる。
- 6のドレッシングをかけて完成!

夏バテとは?

夏バテは、夏の暑さに対して身体が対応できず起こすものです。暑さによる寝不足や、クーラによる室内外の温度差、冷たい物の飲み過ぎなど原因は様々。夏バテにならないように、しっかり体力をつけましょう! そのために、まずは炭水化物を摂るよう心がけましょう。炭水化物を効率よく吸収するために、ビタミンB1、B2、クエン酸を多く含む食材と一緒に摂ると効果的です。

- ビタミンB1、B2: 豚肉、枝豆、豆腐、納豆 など
- クエン酸: 梅干し、酢、レモン、ポン酢 など

今回はこの2つを使って夏バテ解消レシピを紹介します。

■材料(分量は1食分) 【1食分185円】

- 豚肉(薄切り)…… 50g(2〜3枚程度) (77円)
- トマト…………… 1/2個 (50円)
- レタス…………… 1/4玉 (34円)
- きゅうり………… 1/2本 (24円)
- スイートコーン(缶詰)…………… お好み
- 塩麴…………… 大さじ2
- ポン酢…………… 大さじ3

ワンポイント

新潟の夏野菜!

新潟といえばお米のイメージですが、夏野菜だって負けていません! なす、トマト、とうもろこし、枝豆…などなど、とても種類は豊富です。

夏野菜は、食べる体温を下げてくれる働きがあり、夏の暑さに負けない効果があります。野菜は、旬の時期が一番栄養価も高く、値段もお手頃なのでオススメです!

塩麴の力

塩麴を使うと、発酵の際に生成される「うまみ成分」によって豚肉のおいしさが増します! さらに、代謝を高める・免疫力アップ・美肌効果とまさにいいこと尽くし! スーパー等で手軽に入手できます。もちろん、豚肉と一緒に食べればビタミンB群が含まれているので夏バテ対策にもばっちりです!



今回の編集室便りは、脳研究所への取材を終えて+スタッフインタビューです！
オフショットではスタッフの「素の顔」をお届けしていきます！

脳研究所HPに、取材の様子が紹介されました！

皆さんぜひこちらもチェックしてみてください！

脳研究所 HPアドレス <http://www.bri.niigata-u.ac.jp/>

おそらく今回の企画に携わっていなければ訪れることがなかったかもしれない脳研究所。高橋所長にお話を伺ったり、本物の脳の標本を見られたりと、貴重な体験をさせていただきました。

●取材初体験記

実は今回の脳研究所が初めての取材でした！やはり取材というのは難しいものです…。現場特有の緊張感を肌で感じながらお話を伺っていました。普段はあまり感じることはないこの緊張感から学べるものは大きいです！そして、長年経験を積んだ先生方のお話は面白いです！（吉川武宏）



脳研究所取材での1枚。高橋所長と学生スタッフ。



個性豊かな
回答をどうぞ！

～携帯用HPで何ができるのか？～

最新号の紹介

最新号の見どころをお届けします。
要チェック！



スタッフの募集!

新大広報でこんな企画・取材をしたい!!
そんな熱きハートをもった同志達を私たちは大歓迎します!!! 学部学年性別は問いません! 院生も大歓迎です! 見学も受け付けています。今年にはたくさんの新スタッフが加入してくれました! 少しでも興味のある人はぜひ!!

新大広報 携帯用HP

新大広報には携帯用HPが存在していた!春・夏・冬号が発行される度に毎回更新されているらしい。謎のHPの真相に迫る!



お便り大募集!

皆さんからのお便りを募集しています。取り上げてほしいイベントやサークル活動などがありましたらぜひこちらまで! 学生スタッフが取材に駆けつけます! 「あなたの声が大広報を作ります!」。皆さんも新大広報の一員です(笑)

先輩から受け継がれてきた歴代新大広報が閲覧できます!
現在173号～閲覧可能。

パワッパァーの
閲覧が可能

まだまだこれから携帯用HPを発展させていく予定です! ご期待ください!

新大広報ではあなたからのお便りを募集しております。詳しくは冊子の裏面へ!

188号制作スタッフへ3つの質問をしました!

- Q①今号制作で印象に残ったこと! Q②夏休みの予定!
Q③これだけは誰にも負けないこと!

新スタッフ

新スタッフ今号から一緒に新大広報を作っていく新メンバーの紹介です!

← 笠井 佑有

- 1 特集での初インタビューはとても緊張したので、印象に残っています。
- 2 地図帳をばっとひらいて、目についたところに旅行に行きたいです。
※海外を除く
- 3 オリオンのミニコーラが好きなこと

新大広報に入ろうと思ったきっかけ
新大広報を読んで、面白そうだったから。
意気込みを聞かせてください!
インタビューがスムーズに上手できるように頑張りたいです! みなさん、これからよろしくお願いします。

現スタッフ

✓ 新井 宏典

- 1 人生初のボート漕ぎ
- 2 新潟のラーメン屋巡り
- 3 目が細いと言われた回数

↘ 石山 翔子

- 1 初めて保健学科棟に行くと迷子になったこと
- 2 9月だけ集中講義と野外実習で埋まっています…
- 3 年齢を年下に見られた回数



← 江尻 晴菜

- 1 脳研究所を取材させていただいたこと!
- 2 よく学んでよく遊びたいです
- 3 どこでも寝られる(特に車中)

↑ 小林 由依

- 1 ボートに乗って写真を撮ったこと!
- 2 愛用のカメラ片手に旅行!
- 3 甘いものはいくらでも食べられます!

↑ 吉川 武宏

- 1 初めての取材。緊張しまくりでした…(汗)
- 2 集中講義
- 3 買ったのに読んでいない本の冊数

先輩にも聞いてみました!

← 漆館 卓海

- 2 貯金と散財
- 3 コンタクトレンズの左右を間違えた回数

→ 花溪 拓也

- 2 CDをたくさん買って音楽鑑賞
- 3 CDの所持数

← 三浦 瑛美

- 2 新潟県最大の花火大会に行く!
- 3 一人旅に必要な度胸

報告とお詫びについて 新大広報186号(卒業記念号)に掲載いたしました卒業生の顔写真に誤りがありました。ここに報告し、ご迷惑をおかけいたしましたご本人及び関係者の皆さまに深くお詫び申し上げます。回収できた冊子については、写真を訂正し配布しております。また、本学ホームページには訂正した写真で内容を掲載しております。今後はこのような事の無いよう厳重に注意いたします。



～研究者の卵!? 「理系女子(リケジョ)」の昼休み～

のどかな梅雨のキャンパスの一角で、
理学部の1年生の皆さんがガールストークに花を咲かせていました。
数ヶ月前まで高校生だった「リケジョ」たちも、
今ではすっかり大学に馴染んでいます。
将来の研究者を目指し、
助け合いながら勉強中です!



～俺たち、医学部医学科1年生です!～

第一学生食堂前にて、お医者さんを志す仲間たちと
和気あいあいと談笑中でした♪

編集後記

皆さんこんにちは! 今号から新しく編集スタッフになった笠井です。これから楽しい新大広報を作っていきたいと思います。
今回は授業についての特集でしたが、私自身、これはこんな授業だったのかと知ることができて次の履修登録が楽しみになりました。
「学科のもっと知りたいそこトコロ」の取材では学生さんにインタビューをしましたが、違う学部の間で専門的な話が聞けて面白かったです。それに、学部・学科によって雰囲気も全然違うんですね。
また「ひとり*deli」の冷しゃぶサラダはおいしそうですね! みなさん夏でもしっかりとご飯を食べましょね。それではエアコンの温度はエコ設定にして、次号また元気にお会いしましょう!

新大広報編集スタッフ 笠井 佑希

- 【学生編集スタッフ】 吉川 武宏(経済学部2年) 笠井 佑希(経済学部2年) 小林 由依(農学部2年) 江尻 晴菜(人文学部3年) 石山 翔子(理学部3年)
新井 宏典(工学部4年) 漆沼 卓海(人文学部4年) 三浦 瑛美(人文学部4年) 花溪 拓也(教育学部4年)
- 【職員スタッフ】 村山 佳菜絵(学生支援課) 横尾 一真(広報室)

スタッフ募集!!

私たちと一緒に新大広報を作っていきますか!?

新大広報では現在、学生編集スタッフを募集しています。
企画から、取材、記事の作成、編集まで学生が主体となって活動しています。

応募方法 下記のQRコードから新大広報携帯HPへアクセスし、
HP内のメールフォームより
①学部・学年・学籍番号・氏名、②「学生スタッフ希望」と書いて送信してください。



お便り募集 学生スタッフが取材に行きます!

(注)*新大生が関わっているイベント、団体に限ります。*新大広報は年4回の発行であるため、取材時期と発行時期は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

投稿方法 お手持ちの携帯電話で右記のQRコードを読み取ると、新大広報携帯HPへアクセスできます。
新大広報に関するご意見・ご感想もこちらからどうぞ。皆さんからのメッセージをお待ちしています。



QRコードが読み取れない場合や、
パソコンからの投稿はこちらから http://www.niigata-u.ac.jp/mobile/shindai_kouhou.html

個人情報の取り扱いについて 新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。 アンケートや誌面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。 ご記入いただいた個人情報に変更が生じた場合は速やかに上記アドレスまでご連絡ください。また、同アドレスにご連絡いただくことによって、ご本人に限り個人情報の開示・削除・訂正をもとめることができます。 ※QRコード[®]は、株式会社デンソーウェアの登録商標です。

【新大広報 Back Number】

http://www.niigata-u.ac.jp/profile/1/100_pamph/shindai_kouhou.html

新大広報のバックナンバーは上記のURLから閲覧することができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新潟大学ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/>

2013年夏号 [No.188]

編集・発行 / 『新大広報』学生編集スタッフ
新潟大学学務部・新潟大学広報室
印刷 / (株)第一印刷所

